

ISO14001 認証取得

ISO14001 Certification Obtained

地球環境保全に対する世の中の潮流とともに、企業においても環境問題への取り組みが重要課題となってきました。

当社の地球環境保全への取り組みは、既に1992年に社長を委員長とする「地球環境保全委員会」を設置、活動をスタートし、これまでに多くの実績をあげてきました。

さらに、1998年より環境に関する国際規格のISO14001に準拠した環境マネジメントシステムの構築を進め、外部機関より、全社単一システムによる「軸受・ステアリングの開発・設計および国内全製造拠点」の一括認証を取得しました。

この間、一貫した経営理念のもとで明確な環境方針を打ち出し、全社に活動を展開しています。



1. 理念

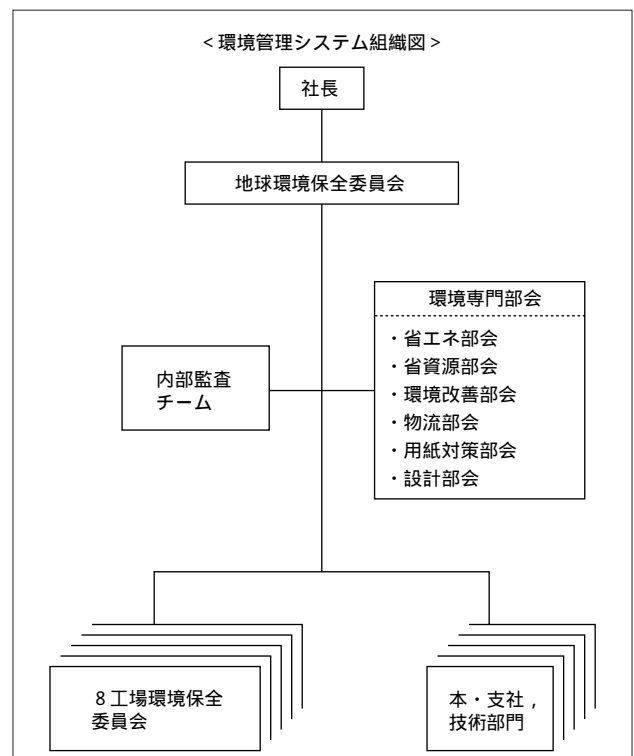
- 1) 人を活かし、働きがいと生きがいを大切に
する。
- 2) マーケットから発想し、最高の技術・品質・サービスを提供する。
- 3) 世界的視野にたち、新しい価値を創造し、豊かな人間社会づくりに貢献する。

2. 環境方針

- 1) 地球規模での環境保護が企業の重要な使命の一つであることを深く認識し、国内外のあらゆる事業活動・製品およびサービスにおいて、自主的かつ積極的に地球環境保全活動を推進する。
- 2) 事業活動と環境を調和させるために環境管理システムを確立し、環境問題を継続的に改善する。また、原材料等の供給者への協力を推し進める。
- 3) 事業活動に関連する環境法令・条例・協定および所属する業界の行動規範等を遵守し、積極的に環境汚染の未然防止に努める。
- 4) 地球環境保全上の技術的ニーズを的確に把握し、これらに対応する商品を開発・提供することで社会に貢献する。
- 5) 全社員の環境意識を高揚して、事業活動・製品およびサービスに関する環境側面のうち、環境管理重点テーマとして次の項目に取り組む
 - ・消費エネルギーの削減

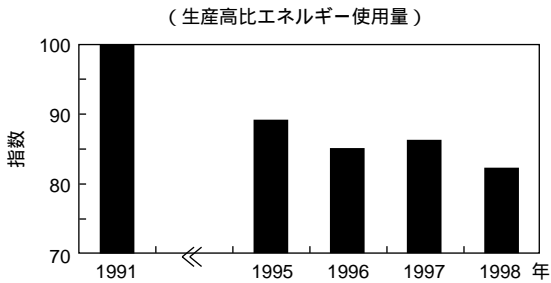
- ・廃棄物の削減
- ・主資材・副資材の削減
- ・包装梱包資材の削減および物流効率化
- ・用紙の使用量削減
- ・環境負荷物質の削減および代替化

- 6) 各事業場の立地条件を認識し、関係諸官庁・地域住民とのコミュニケーションを図り、地域社会の環境改善に協力する。また必要に応じて、環境管理活動の実施状況について公開する。

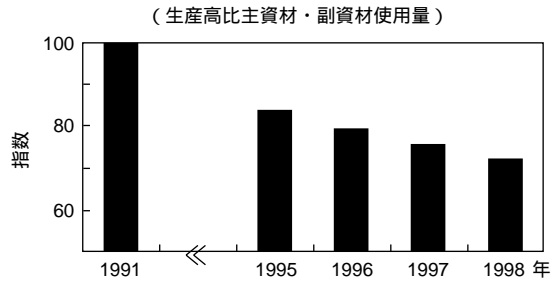


3. 環境専門部会活動の成果例

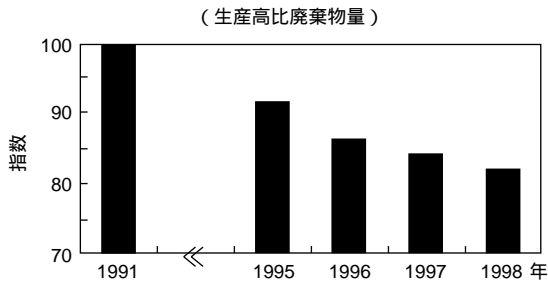
< 省エネ >



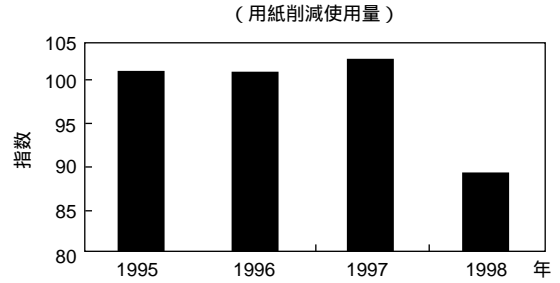
< 省資源 >



< 廃棄物削減 >



< 用紙削減 >



審査状況例



改善事例 (廃液蒸発濃縮装置)

4. 基本的考え方

今後は、各部門での継続的改善に注力するとともに、21世紀を見据えた“環境にやさしい”製品の開発・商品化を通じ、地球環境保全に更に貢献していく考えです。

- 1) できるだけ資源を使わない(省資源)。
- 2) できるだけエネルギーを使わない(省エネルギー)。

3) 有害物質を含む材料は、使わない(無害化)。

また、国内関係会社、および海外の事業所に対しても順次環境マネジメントシステムの構築を進め、Koyoグループ全体で地球環境保全に取り組む方針です。<http://www.koyo-seiko.co.jp>

(安全衛生環境管理室 村木宣善)